

■ 酒を飲まずに宴会になじむための5カ条 ■

1、つがれる前につげ

- 相手のグラスが空になる直前のタイミングをとらえ、つぐ。水割りを率先して作り、自分用には氷水やウーロン茶の水割りをこっそり用意



2、聞き上手になれ

- ぼろりともらす本音をとらえ、ビジネスに生かそう

3、幹事業務をこなせ

- 注文、会計を引き受け、皿なども整理すると店の人にも喜ばれる。飲まなくても楽しめる店を予約する

4、飲まない理由を用意せよ

- 休肝日にしたい人は「ドクターストップがかかっている」、「痛風にかかつた」、「明日は運転するので」などが有効

5. 孤立するな

- 一人寂しそうにしていると酒をすすめられやすい。
積極的に話題の輪に加わる

江森さんは
十二年間の営
業経験から一
つの教訓を得
た。「人に酒

忘年会シーズン到来。曰
ごろのストレスを発散する
機会になればよいが、連日
の飲み会で肝臓が疲れた
り、体質的にアルコールを
受け付けなかつたりする人
は気が進まないこともあります。
そんなときどのように
宴会を乗り切ればいいのか。
飲まない宴席名人た
ちにそのコツを聞いた。
キリンビール東京中央統
括支社営業部課長代理の江
森晋さんは、酒造企業勤務
なのに「飲めない営業マ
ン」。生ビール一杯で顔は
真っ赤になり、そのまま眠
くなつて記憶がなくなる。
しかし忘年会シーズンとも
なると毎晩のように宴会に
出なければならぬとい

をつきたがる人はつがれたがっている」。そこで先手を打ってグラスの中の酒がなくなりかけたら、すかさずつぐ。「そうするつがれても飲むペースを守りやすい」と江森さん。意識的に話題をぶり、場を盛り上げるのもいい。酔つていないうついていけないノリもあるが、ぽつんと一人寂しそうにしていると、「ま、一杯」とすすめられる」とになる。間を持たせたいときは、焼酎やウイスキーの水割りを率先してつくること。「自分用にはただの氷水にする」。江森さんはウイスキーに似せるため、ウーロン茶を少し垂らすなど涙ぐましい工夫を重ねてきた。

吉本興業の元常務でフリープロデューサーの木村政雄さんはこわもてのイメージとは裏腹に「アルコールを一滴も受け付けない体质」だそうだ。「今の時代は自分は飲めないと宣言してしまえば、無理にすすめられることもない」と話す。飲まない代わりに「聞き役に徹する」のが木村さん流。宴席では先方が本音をぼろつとこぼすこともあるので、ビジネスチャンスにつなげようと考える。ウーロン茶片手にしつかり食べつつ、相手が気を許したところで、商談に持ち込めば完ぺきだ。

つがれぬ工夫を 迷わず下戸宣言

忘年会

飲まずに過ぎるには？

忘年会シーズン到来。日ごろのストレスを発散する機会になればよいが、連日の飲み会で肝臓が疲れたる、体質的にアルコールを受け付けなかつたりする人は気が進まないこともあります。そんなときどのように宴会を乗り切ればいいのか。“飲まない宴席名人”たちにそのコツを聞いた。

キリンビール東京中央統括支社営業部課長代理の江森晋さんは、酒造企業勤務なのに「飲めない営業マン」。生ビール一杯で顔は真っ赤になり、その後うつ眠くなつて記憶がなくなる。しかし忘年会シーズンとなると毎晩のように宴会になると毎晩のように宴会に出なければならないとい

「ついたがる人はつがれたがっている」。そこで先手を打ってグラスの中の酒がなくなりかけたら、すかさずつぐ。「そうするつがれても飲むペースを守りやすい」と江森さん。意識的に話題をふり、場を盛り上げるものいい。酔つていないうついていけないノリもあるが、ぽつんと一人寂しそうにしていると、「ま、一杯」とすすめられることになる。間を持たせたいときは、焼酎やウイスキーの水割りを率先してつくること。「自分用にはただの水水にする」。江森さんはウイスキーに似せるため、ウーロン茶を少し垂らすなど涙ぐましい工夫を重ねてきた。

吉本興業の元常務でフリープロデューサーの木村政雄さんはこわもてのイメージとは裏腹に「アルコールを一滴も受け付けない体质」だそうだ。「今の時代は自分は飲めないと宣言してしまえば、無理にすめられないこともない」と話す。飲まない代わりに「聞き役に徹する」のが木村さん流。宴席では先方が本音をぽろっとこぼすこともあるので、ビジネスチャンスにつなげようと考へる。ウーロン茶片手にしつかり食べつつ、相手が気を許したところで商談に持ち込めれば完ぺきだ。

つがれぬ工夫を
迷わず下戸宣言

だけで末席の整い……」と答える。その答えが周りに心配をかけてしまうなら「明日は運転するので」と答えれば差し障りがないだろう。

加藤さんが最近気になつているのが、中国や韓国などで開かれる企業の懇親会で酒を断れない人が目立つてきたこと。「欧米のパーティでは無理に飲まされることはないが、地域によってはつがれた酒を飲まないのを失礼とする文化もある」。本当に飲めない人は乾杯前に飲めない理由を説明する。

飲むときは空腹だとアルコールの吸収が早く、酔いがまわりやすくなるので「前もってパンやご飯を軽く食べてから」と話

は、飲まない人も樂しませる
ショ一を見られるバーに連れて行くなど、自分も先方
も喜ばせてくれる店のチェックは怠らない」と話す。
アルコールを受け付けない人は日ごろから「飲めない」と周知徹底しておけば
しのぎやすい。難しいのは実際は飲めるのにその日だけ飲みたくないケースだ。
東京の慶應大学病院で節酒外来を担当する内科医、加藤真三さんは「想定問答を用意しておくとよい」と助言する。「どうして飲まないの?」と問われたら「ドクターストップがかかって

を置いておき、口に含んだ
酒をこいつり出すのも一つ
の方法」と明かす。
もちろん、飲めない人に
アルコールを強要するのは
禁物。加藤さんによると、
アジア人には生来アルコー
ルを分解する酵素の働きが
弱い人がいる。日本人でも
約一割はこの酵素がほとんど
ど働かず、約四割は働きが
弱いため、顔などが赤くな
ってしまう。

つがれぬ工夫を
迷わず下戸宣言

いて……」と答える。その
答えが周りに心配をかけて
しまうなら「明日は運転す
るので」と答えれば差し障
りがないだろう。